

2023（令和5）年度

報恩講ガイド



報恩講とは

親鸞さまのご命日法要のことで、浄土真宗門徒にとつては一番大切な行事です。七五〇年以上にわたり、先祖代々大切に伝えられてまいりました。クリスマスをしないクリスチヤンがいないように、報恩講は真宗門徒にとつては、特別な意味を持つご伝統のご法縁です。

初耳の方も

核家族化のせいでしょうか、ご先祖・ご両親はあんなに大事にされていたのに、全く同じではないという次世代が急増しています。

七五〇年も続いているのはそれなりの理由があります。初耳の方も、「関心ない」「忙しくてそれどころではない」とおっしゃらず、どうか「温故知新」故（ふる）きを温（たず）ねて新しきを知るの精神で、私たちの先輩方が大事にされた限りないのちの世界の扉を開いてください。

〈お問い合わせ・ご連絡先〉

長ノ木本坊地区も
三津田支坊地区もすべて 蔵本通支坊まで

中央7丁目7-13 ☎0823(21)2798

三つある報恩講

報恩講は、

- (1)通り報恩講
- (2)お取越し報恩講
- (3)御正當（御正忌）報恩講

の三通りあります。

- (1)通り報恩講
各ご家庭でお迎えする報恩講です。ご門徒は必須です。西教寺では、毎年十月一日（今年は二日）よりはじります。お寺の近くはさしあたり日時を指定させていただき、一軒三〇分の日安でお参りいたします。お寺から遠くは、あらかじめ日時を相談の上お参りさせていただいています。
- (2)お取越し報恩講
その日は都合が悪い

お寺からご案内の日時に、仕事やご病気などで都合がつかない場合は別の日時にお参りさせていただいている。

大事な報恩講です。早朝でも夜でもお参りいたします。遠慮なくご一報ください。

いいます。お忙しいご門徒の皆さんも、どうぞ年に一度、報恩講にはお寺にお参りください（詳細は最後のページ）。

徒は広島の郷土料理「煮ごめ」を食べてお精進で過ごします。漁・獵も休んだため市場・鮮魚店・精肉店が休みになりました（おたんやの市止まり）。

《連絡先》
すべて蔵本通支坊へ
0823(21)2798

ご理解とご協力を

お葬式や枕経（臨終勤行）

など、どうしても予定を変更せねばならない場合があります。また、深刻な相談の場合は話を途中で切れないこともあります。時間厳守を心がけていますが、ご理解とご協力をお願ひいたします。



(2)お取越し報恩講

お寺でつとまる報恩講法要です。親鸞聖人のご命日（一月十六日）を取り越して（くりあげて）つとめるのでそ

(3)御正當（御正忌）報恩講

そして最後に、一月十六日の親鸞さまのご命日の法要が、京都の西本願寺で二月九日（十六日の八日間つとまり

ます（御正忌報恩講）。それは素晴らしいご法縁です。美しく莊嚴された御堂は満堂となり、希望者は国宝の鴻（こう）の間でお齋（とき・精進料理）もいただけます。

十五日は通夜布教といつてひと晩中ご法話があります。皆さんぜひひご本山へお参りいたしましよう。

しかし、昔はそう簡単に京都へ行けませんでしたので、ご法義な（信心深い）安芸地方では、当たり日に現場のお寺でも法要（御正當報恩講）をつとめます。本山にお参り門主）は、

報恩講の意義

〔御俗姓御文章〕『浄土真宗聖典註釈版』一二三三頁

この砌（報恩講の法縁）において仏法の信・不信をあひたづねてこれを決するべくんば、真実眞實、聖人（親鸞）報謝の懇志にあひかなふべきものなり。

〔御俗姓御文章〕『浄土真宗聖典註釈版』一二三三頁

と、私たち一人一人が信心を決定することこそが、親鸞さまのご恩に報いること「報恩」なのだとおっしゃっています。報恩講は、私（たちが）仏さまと出遇い、まことの人生に目覚めてゆくご縁です。最後に、親鸞さまがおっしゃる報恩は、「お念佛を心に入れ、世の中安穏なれ、仏法ひろまれ」と生きること、信心とは、自己完結することではなく、世のため人のために尽くすことだとおっしゃいます。どうぞ、仏さまから届けられたいのちの意味にめざめ、皆にも伝えてゆきましょう。

のお仏壇準備

すから、造花はご法度です。

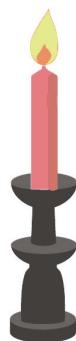


通り報恩講は、何はともあれお仏壇のご準備から。報恩講は、昔から、「おみがき」といつてお仏壇を大掃除してお迎えするのが慣わしです。

おみがき（お掃除）



めづきしていらないしんちゆう製の輪燈・おリン・仏飯器などは、仏壇店などで売つて磨きます。家族みんなでおみがきします。



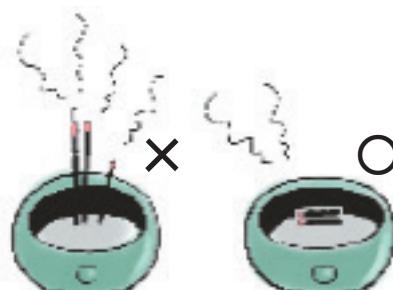
お仏飯



いるしんちゆう磨きなどで磨きます。家族みんなでおみがきします。

普段横着して電気のローソクだけの人も、この日は本物のお光りをともしましよう。新しいのを出しておいて下さい。できれば、朱口ウ（赤いローソク）で。マッチと灰皿をお

ローソク



線香は立てずにねかせます

できるだけ良い香りのものにしましょう。香炉は灰をならしておきましょう。マッチの燃えカスは香炉ではなく灰皿に入れるようにしましょう。

お香

裏側に（黒塗りの部分）が出ないようにします。



面に来るよう（黒が見えないよう）します。

ちなみに、仏さまとご先祖とを混同しておられる方も少なくないようです。仏さまには

お水・お茶・コーヒー・お酒・たばこ等はお供えしません。



香炉を乗せるお盆・抹香（粉のお香）を忘れずに。

お焼香道具



お持ちでない方は、お寺にご相談下さい。ちなみに、法事の「お仏前」をお供えする場合や、お花、仏具なども仏さまの方には向けて私たちの方向に向けるのがお作法です。



こちらが仏さま側（上側）

御文章（ごぶんじょう）

「出し忘れ」をしたり、向きが「上下逆」になつてゐるのが御文章。

お念珠・お経本・門徒式章

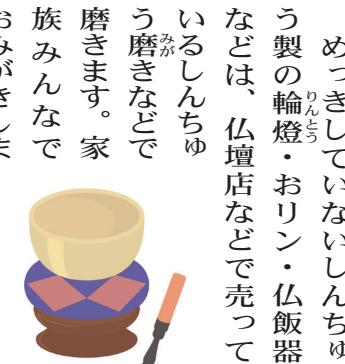
お念珠、お経の本をお忘れなく。門徒式章をお持ちの方

お花

まごころをお供えするので

おかげり

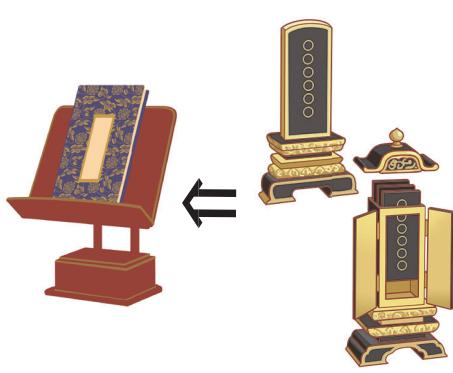
通り報恩講は、何はともあれお仏壇のご準備から。報恩講は、昔から、「おみがき」といつてお仏壇を大掃除してお迎えするのが慣わしです。



これがなければ始まりません。両脇掛け（親鸞さま・蓮如さま）にもお忘れなく。

三方向が黒の供笥は、金が正に盛りますが、この辺で多い三方向が金濃（金色）、残りの供笥（華足ともいう）や高杯

はご着用ください。この三つ
が仏さまにお参りする時の三
点セットです。これらは大切
に扱い、直接地面に置かない
ようにしましょう。



おつとめ

お経はいつしょについてあげ
ます。老眼鏡を忘れずに。時間
を一軒三十分に長くしてから、
お正信偈も少しはゆっくりにな
なつたと思いますので、できる
だけ多くの方を誘つていっしょ
におつとめしましょう。

お位牌は過去帳に

封内（＝領地内）親鸞宗に係
るもの多し。その深く信ずる者
は、家に神棚を置かず、病んで
祈祷せず（『芸藩通史』）
と、神さまや祈祷にたよらずに、
教えの通り力強く生きておられ
た様子が記されています。

お参り先で、たまにお守り・
破魔矢・お札・神棚・他宗の
本尊など見かけます。このほか、

「淨土真宗の教章（旧）」には、
真宗門徒の生き方として「深
く因果の道理をわきまして、
現世祈禱やまじないをおこな
わず占いなどの迷信にたよら
ない」とあります。私たちの
ご先祖はどうだったかという
と、江戸時代、広島藩で編纂さ
れた『芸藩通史』には、

宗教は大きく分けて「力の宗
教」と、「道（道理）の宗教」に
分けることができると思います。
前者は人間を超えた力、パワー
に頼る宗教です。後者は、私た
ちはどう生きてゆくべきか、歩
むべき道、眞実の道、道理を教
える宗教です。何が本当のこと
か、実りある人生には何が大事
なことなのか、どうぞお寺でいつ
しょにお聴聞いたしましょう。

浄土真宗はお位牌は用いま
せん。法名帳（過去帳）に書
き換えましょう。お寺の者に
ご相談下さい。

真宗門徒の生き方

日の善し悪しや方角、墓相・家相、
その他さまざまな縁起かつぎや、
運気が上がるといわれる壺や印
鑑など、気になつている方もい
らっしゃるようです。私は、こ
のことを「けしからん」とか「つ
まらん」とかいいたいのではあ
りません。悩みや不安は誰にだつ
てあります。



いらなくなります

人身受けがたし
仏法聞きがたし

お取越し報恩講法座

〔朝席〕8時30分～10時30分 〔昼席〕13時～15時 〔夜席〕19時30分～21時

今しばらくはマスク着用でお参りください。参加費（ご法礼）は、お名前（フルネーム）・住所・電話番号を書いた封筒にお気持ち（喜捨）を入れて帳場にお願いします。YouTubeでも配信しますのでご自宅でも視聴できます。どうぞ、帰戻できないご遠方のご家族ご友人にも教えてあげてください。開始1時間前に警報が出ていたら中止です。



呉市西教寺 YouTube

三津田支坊 11月11日（土）夜席 / 12日（日）朝席・昼席 配信
三条4-13-7
TEL0823-21-5895

講師 吉崎 哲真 先生（本願寺派布教使・安芸教区平和環境部会
九条の会担当・佐伯区湯来町西法寺住職）

蔵本通支坊 11月25日（土）夜席 / 26日（日）朝席・昼席 / 27日（月）朝席 配信
中央7-7-13
TEL0823-21-2798

講師 片江 哲海 先生（元本願寺中央相談員・連研中央講師、
佐賀県神崎郡西福寺前住職）

長ノ木本坊 12月14日（木）夜席 / 15日（金）朝席・昼席 / 16日（土）朝席 配信
長ノ木町16-10
TEL0823-21-3714

講師 藤井 聰之 先生（元安芸教区相談員・安佐北区教雲寺前住職）